ETERNUS3000 モデル80 ディスクアレイ セットアップガイド

P3AM-1282-02

まず、このセットアップガイドをお読みください。

本書は、ETERNUS3000 モデル80 の設置から運用までの流れを示しています。

⚠ 注意

指示

本装置をご使用になる前に、取扱説明書の「安全上のご注意」を確認してください。

取扱説明書 >>> 「安全上のご注意」

セットアップの流れ

1. 事前準備と設置場所の確保
2. 梱包物を確認する
3. 各部の名称を確認する
4. 設置
5. バッテリースイッチの設定
6. ネットワークの設定
7. ケーブルの接続
8. 各種設定
9. 運用開始

本ガイドに記載されている会社名、製品名、サービス名は、一般に各社の商標または登録商標です。All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2006

1 事前準備と設置場所の確保

準備する

事前に以下のものを準備・確認してください。

- IP アドレス取得（本装置用、PC 用）／サブネットマスク確認
- 電源コンセント数の確認（1 装置あたり 2 個必要）
- 工具（プラスドライバー）
- PC、LAN クロスケーブル、ハブ、LAN ストレートケーブル

重要 本装置に添付の以下のマニュアルを必ず準備してください。

『ETERNUSmgr インストールガイド』（注）
『ETERNUS3000 ディスクアレイ サーバ接続ガイド （ファイバチャネル接続用）』（注）
『ETERNUSmgr ユーザーガイド 導入編』（注）
『ETERNUSmgr ユーザーガイド 設定／保守編』（注）
『GR デバイスドライバ ソフトウェア説明書』(サーバが Windows NT® または Windows® 2000 の場合)（注）
『ETERNUS デバイスドライバ ソフトウェア説明書』（サーバが Windows Server 2003 の場合）（注）
『ハードディスクドライバ HDDV ソフトウェア説明書』(サーバが Solaris 2.6, 7, 8, 9 OS の場合)（注）

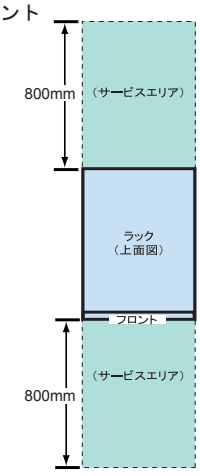
注）紙または製品 CD などで提供されるマニュアルです。

設置場所を確保する

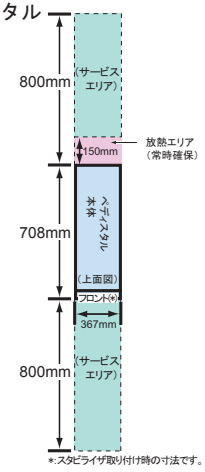
設置エリア

本装置は、以下のスペースを確保できる場所に設置してください。

■ ラックマウント



■ ペディスタル



設置環境

温度

本装置は、以下の環境条件を守った上で運用してください。
環境条件を外れた設置環境での運用は、本装置が故障したり、本装置の寿命が著しく短くなったりする原因となります。

- 温度（5 ～ 35℃）
- 湿度（20 ～ 80%）

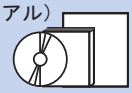
取扱説明書 >>> 「3.2 設置」

次の手順へ

2 梱包物を確認する

本装置に添付のドキュメント類

- ☐ 取扱説明書
- ☐ サーバ接続ガイド（CD マニュアル）
- ☐ セットアップガイド（本書）
- ☐ 保証書 兼 登録お申込書



増設ハードディスクユニットに添付

- ☐ リストストラップ

RCI 電源連動オプションに添付

- ☐ RCI ケーブル（4m 1 本、0.4m 1 本）
- ☐ RCI 中継ボックス（1 個）
- ☐ RCI 終端抵抗（1 個）

本装置の設定に必要なソフトウェア

- ☐ ETERNUSmgr
- ☐ ハードディスクドライバ
- ☐ デバイスドライバ
- ☐ 監視機能追加ディスク

☐ 本体装置

■ ラックマウント

■ ペディスタル

周辺機器接続時に必要なもの

- ☐ ファイバチャネルケーブル
  （2 ポートタイプの場合　2 本）
  （4 ポートタイプの場合　4 本）
- ☐ LAN ストレートケーブル（2 本）
- ☐ 電源コード（2 本）
- ☐ 電源コード押さえ金具（2 個）

ペディスタルの設置に必要なもの

- ☐ フロントカバーキー（2 個）
- ☐ リアカバー（1 個）
- ☐ リアケーブルホルダー（1 個）
- ☐ スタビライザ（1 個）

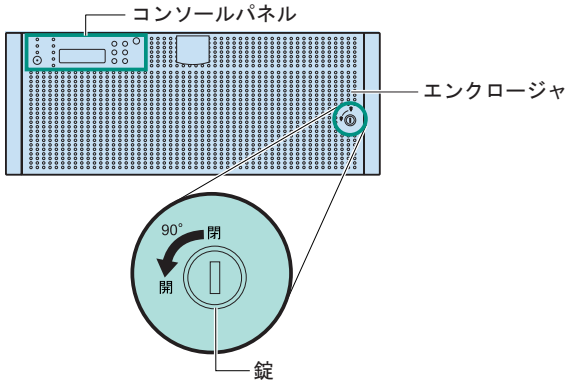
ラックマウントの設置に必要なもの

- ☐ フロントカバーキー（2 個）
- ☐ ラック搭載ブラケット（一式）

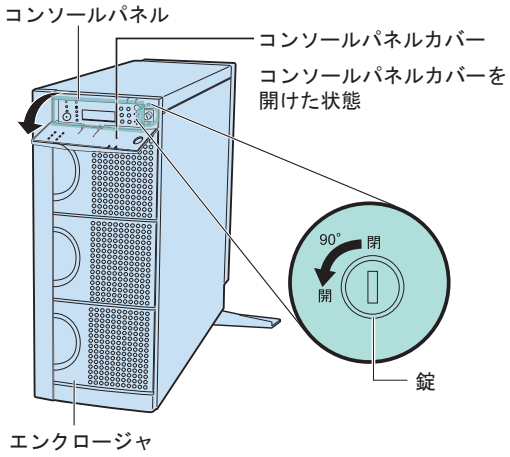
取扱説明書 「3.1 梱包物」

3 各部の名称を確認する

■ ラックマウント



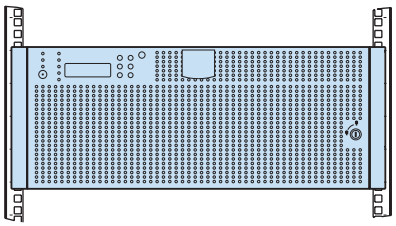
■ ペディスタル



取扱説明書 「2.1 各部の名称と働き」

4 設置

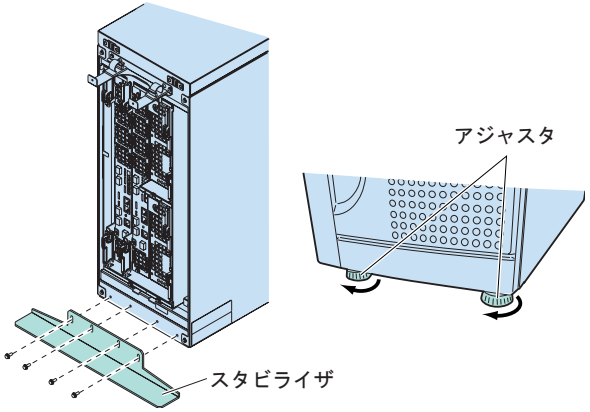
■ ラックマウント
ラックに搭載して設置します。



重要 ラックへの搭載は、担当保守員が行います。
ラックに搭載するときは、担当営業員または担当保守員に連絡してください。

取扱説明書 「3.2.4 装置の設置（ラックマウント）」

■ ペディスタル
本装置の設置後、スタビライザを取り付けます。
その後、本装置前面下部のアジャスタを回して、本装置を固定してください。



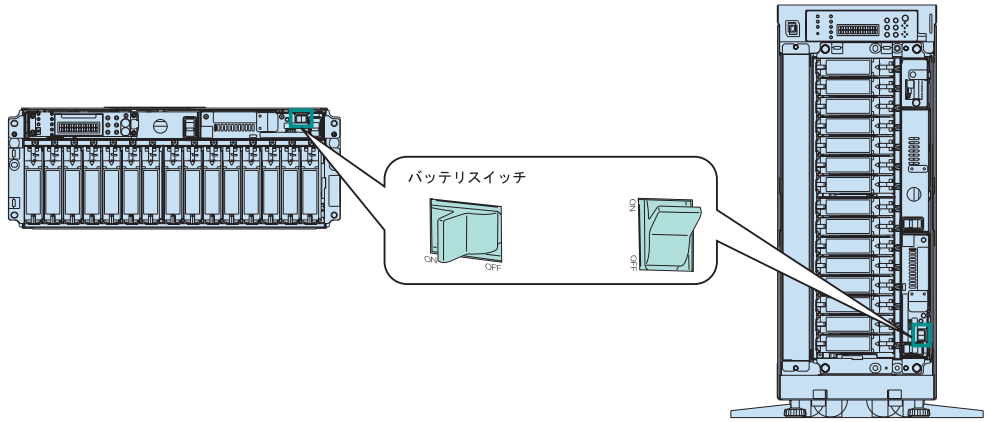
取扱説明書 「3.2.5 装置の設置（ペディスタル）」

5 バッテリースイッチの設定

フロントカバーを取り外し、バッテリーユニットのバッテリースイッチを ON に設定します。

■ ラックマウント

■ ペディスタル



取扱説明書 「4.1.2 バッテリースイッチの設定」

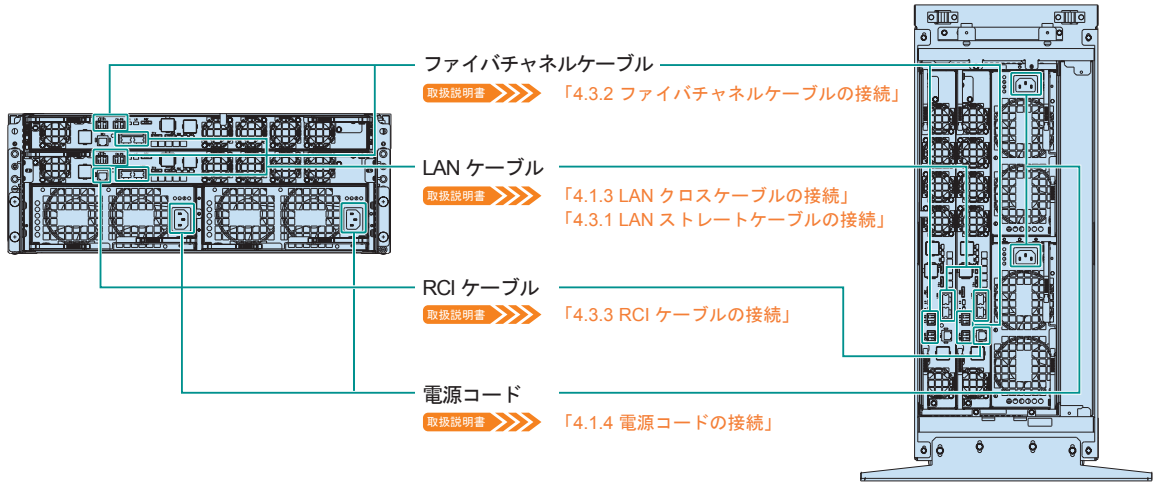
6 ネットワークの設定

1 各種ケーブルの接続位置の確認

各種ケーブルを接続する位置を確認します。

■ ラックマウント

■ ペディスタル



2 ケーブルの接続

以下のケーブルを接続します。

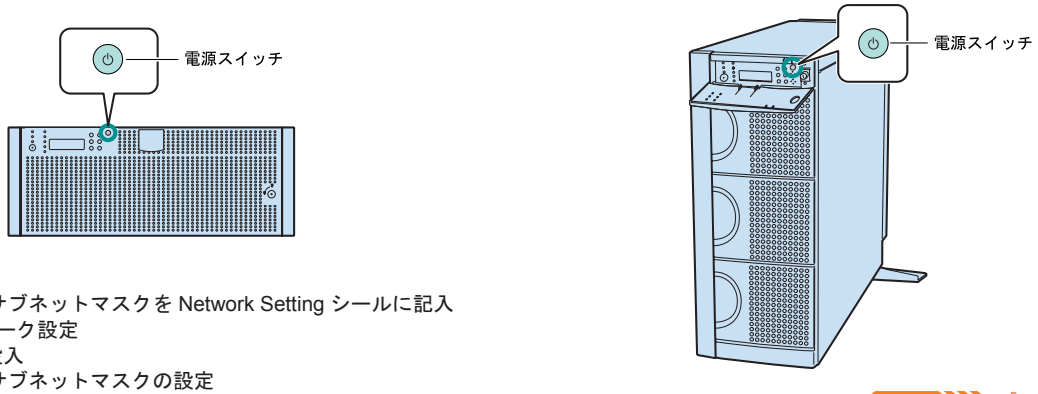
- LAN クロスケーブル（本装置と PC を接続）
- 電源コード

3 ネットワークの設定

本装置の電源を投入し、ネットワークの設定を行います。

■ ラックマウント

■ ペディスタル



- IP アドレス／サブネットマスクを Network Setting シールに記入
- PC のネットワーク設定
- 本装置の電源投入
- IP アドレス／サブネットマスクの設定

取扱説明書 「4.2 ネットワーク設定」

7 ケーブルの接続

以下のケーブルを接続します。

- LAN ストレートケーブル
- ファイバチャネルケーブル
- RCI ケーブル
- 電源コード

> ⚠警告 感電
>
> ケーブルを接続する場合は、必ず電源コードをコンセントから取り外してください。
> 感電の原因となります。

取扱説明書 「4.3 ケーブルの接続」

8 各種設定

必要に応じて各種設定を行います。

1 電源モードの設定

コンソールパネルのパネルキーで、電源モードを設定します。

- 電源モードのリモートモード／ローカルモードの切替え
- 自動復電モードの設定
- AC 自動連動モードの設定
- RCI アドレスの設定（RCI で電源制御を行う場合）

取扱説明書 「4.4 電源モードの設定」

2 ETERNUSmgr の設定

ETERNUSmgr をインストールして、状態確認や必要な設定を行います。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

- 『ETERNUSmgr インストールガイド』
- 『ETERNUSmgr ユーザーガイド 導入編』
- 『ETERNUSmgr ユーザーガイド 設定／保守編』

取扱説明書 「4.5 ETERNUSmgr を使った設定」

3 各種ドライバのインストールと接続の確認

サーバに各種ドライバをインストールします。
詳細は、以下のマニュアルを参照してください。

- 『ETERNUS3000 ディスクアレイ サーバ接続ガイド（ファイバチャネル接続用）』
- 『GR デバイスドライバ ソフトウェア説明書』（サーバが Windows NT® または Windows® 2000 の場合）
- 『ETERNUS デバイスドライバ ソフトウェア説明書』（サーバが Windows Server 2003 の場合）
- 『ハードディスクドライバ HDDV ソフトウェア説明書』（サーバが Solaris 2.6, 7, 8, 9 OS の場合）

取扱説明書 「4.6 各種ドライバのインストールと接続の確認」

4 お客様登録センターへの登録

保守サービスを円滑に行うため、必ずお客様登録センターに登録してください。

取扱説明書 「4.7 お客様登録センターへの登録」

9 運用開始

これでセットアップが終了しました。運用を開始できます。

ETERNUS3000 モデル 80 ディスクアレイ セットアップガイド
P3AM-1282-02
発行日　2006 年 5 月
発行責任　富士通株式会社
Printed in Japan

●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●本書の内容は、細心の注意を払って制作致しましたが、本書中の誤字、情報の抜け、本書情報の使用に起因する運用結果に関しましては、責任を負いかねますので予めご了承願います。
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
●無断転載を禁じます。
●乱丁、落丁はお取り替え致します。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。